



2022年5月31日

各位

会社名 シリコンスタジオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 梶谷眞一郎
(コード: 3907、東証グロース)
問合せ先 コーポレートサービス本部長 佐々木 雄一
(TEL. 03-5488-7070)

株式会社アルゴグラフィックスとの資本業務提携に関する基本合意書の締結、 及び第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、2022年5月31日開催の取締役会において、株式会社アルゴグラフィックス（以下「アルゴグラフィックス」といいます。）と資本業務提携に関する基本合意書（以下「本資本業務提携契約」といい、当該契約に基づく資本業務提携を以下「本資本業務提携」といいます。）を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 本資本業務提携の概要

1. 本資本業務提携の目的及び理由

当社は、先端リアルタイムCG技術、オンライン技術、コンシューマーゲーム開発技術等を提供する開発推進・支援事業において、「Ideas × Art × Technology」をブランドメッセージとして掲げ、CGの黎明期から培った技術力、表現力、発想力を強みとしてゲーム・エンターテインメント業界にとどまらず、製造、土木・建築、自動車といった産業分野にも事業領域を拡大しております。

ここ数年、当社が注力している産業分野においては、機械学習向け教師画像生成ソリューション『BENZaiTEN（ベンザイテン）』をはじめ、3Dレーザースキャナー等で物体や地形を計測したデータの集合体である点群データの活用支援サービス等、当社の強みである3DCG技術を活用したサービスを提供しております。デジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みが加速する中、当社がエンターテインメント業界で培った3DCG技術への引き合いは今後ますます増加するものと予想しており、産業分野向けビジネスは当社の成長ドライバーになるものと考えております。

当社創業以来、主にゲーム・エンターテインメント業界向けに事業展開してきたことから、産業分野において事業基盤を構築し、企業価値向上を図るためには、産業分野で実績のある企業と協力関係を構築することが必要不可欠であると考えております。

アルゴグラフィックスは、自動車をはじめとした製造業において広く使われているハイエンドCADシステム「CATIA」にいち早く注目し、課題解決と新たな価値を創るための提案を実施するテクニカル・ソリューション・プロバイダーとして日本のものづくりを支え、製造業界のリーディングカンパニーから多大な評価を受けていることから、当社の資本業務提携先として選定いたしました。

本資本業務提携により、自動運転や製品検査等、機械学習による画像認識用の教師データをはじめ、建築におけるxRやゲームエンジン（注）を使ったデジタルツイン等、産業分野をターゲットとした業務提携に加え、今後大きなビジネスチャンスになることが予想される産業分野でのリアルタイム3Dコラボレーションプラットフォームの事業展開についても協業に向けた協議を進めてまいります。

(注) ゲームエンジンとは、CGによるアプリケーションやコンテンツ開発において必要なライブラリやツール等の機能がまとまったGUIベースの統合開発環境です。高品質な3Dグラフィックスを比較的簡単に作成できる仕組みが揃っているため、近年はゲームや映像コンテンツのみならず、自動車や建築、製造業等の産業分野で活用が進んでいます。

2. 本資本業務提携の内容

(1) 資本提携の内容

当社は、本自己株式処分により、アルゴグラフィックスに対して、当社の普通株式90,040株（当社の発行済株式総数の3.03%）を割り当てます。本自己株式処分の詳細については、「Ⅱ. 第三者割当による自己株式の処分について」をご参照ください。

(2) 業務提携の内容

基本合意の内容は以下の通りです。

- ① ゲームエンジン分野での業務提携について今後協議を進めること
- ② リアルタイム3Dコラボレーションプラットフォームの検証と展開について今後協議を進めること

(3) 資本業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社アルゴグラフィックス	
(2) 所 在 地	東京都中央区日本橋箱崎町5-14	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼CEO 藤澤 義麿	
(4) 事 業 内 容	ソフトウェア開発、情報処理、システム販売	
(5) 資 本 金	1,873,136千円	
(6) 設 立 年 月 日	1985年2月19日	
(7) 発 行 済 株 式 数	22,354,000株(2021年9月30日現在)	
(8) 決 算 期	3月	
(9) 従 業 員 数	(連結) 1,044名(2021年3月31日現在) (単体) 508名(2021年3月31日現在)	
(10) 主 要 取 引 先	-	
(11) 主 要 取 引 銀 行	株式会社みずほ銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行	
(12) 大株主及び持株比率	SCSK株式会社	21.79%
(2021年9月30日現在)	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10.44%
	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5.39%
	BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	3.42%
	JP MORGAN CHASE BANK 385632	3.17%
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	3.05%
	藤澤 義麿	2.71%
	MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	2.57%
	株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	1.73%
	株式会社タムロン	1.65%
	株式会社みずほ銀行	1.65%

(13) 当事会社間の関係			
資 本 関 係	該当事項はありません。		
人 的 関 係	該当事項はありません。		
取 引 関 係	当社とアルゴグラフィックスとの間には、ソフトウェアの受託開発で取引関係があります。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。		
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
連 結 純 資 産	32,329	36,529	39,859
連 結 総 資 産	48,274	52,585	58,830
1株当たり連結純資産(円)	1,432.58	1,624.49	1,769.01
連 結 売 上 高	48,192	43,416	46,188
連 結 営 業 利 益	6,265	5,639	6,601
連 結 経 常 利 益	6,562	5,997	6,944
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	4,214	3,961	4,517
1株当たり連結当期純利益(円)	197.34	185.50	211.36
1株当たり配当金(円)	60.00	60.00	63.00

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(注) 処分予定先であるアルゴグラフィックスは、東京証券取引所プライム市場に上場しており、当社は、アルゴグラフィックスが東京証券取引所に提出した2021年12月27日付「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」の内部統制システムに関する事項において、反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況を確認することにより、処分予定先グループ及びその役員が反社会勢力等とは一切関係ないものと判断しております。

(4) 日程

(1) 取締役会決議日	2022年5月31日
(2) 資本業務提携に関する基本合意書の締結日	2022年5月31日
(3) 第三者割当による自己株式処分に係る払込日	2022年6月17日

※今後は、本資本業務提携に基づき、両社間で詳細に関して協議を進めてまいります。

II. 第三者割当による自己株式の処分について

1. 処分の概要

(1) 処 分 期 日	2022年6月17日
(2) 処 分 株 式 数	普通株式90,040株
(3) 処 分 価 額	1株につき917円
(4) 調 達 資 金 の 額	82,566,680円
(5) 処 分 予 定 先	株式会社アルゴグラフィックス
(6) そ の 他	本第三者割当増資については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しています。

2. 処分の理由

本自己株式処分は本資本業務提携の一環として実施するものであり、当社とアルゴグラフィックスは本自己株式処分を通じて、両社の関係性の強化を実現できると考えております。また、当社とアルゴグラフィックスとの関係性の強化は、中長期的な観点から今後の当社グループの企業価値の向上及び既存株主の利益にも資するものと判断しております。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	82,566,680 円
② 発行諸費用の概算額	1,500,000 円
③ 差引手取概算額	81,066,680 円

- (注) 1. 払込金額の総額、発行諸費用の概算額及び差引手取概算額は、本自己株式処分によるものであり、発行諸費用の概算額の内訳は、弁護士費用、有価証券通知書作成費用、その他諸費用の合計額です。
2. 発行諸費用等の概算額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
開発推進・支援事業における開発体制の強化 (エンジニア採用に係る採用手数料等に充当します。)	81	2022年6月～ 2024年5月

※調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理いたします。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本業務提携を推進するためには、優秀なエンジニアの確保が必要不可欠であることから、前記「Ⅱ. 3. (2) 調達する資金の具体的な用途」に記載の通り、開発推進・支援事業における開発体制の強化のために活用していくことで、中長期的に当社グループの企業価値向上に資すると考えられるため、かかる資金用途は合理的であると判断しました。

5. 処分条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額につきましては、割当予定先との協議の結果、本自己株式処分に係る取締役会決議日の直前営業日(2022年5月30日)から遡る直近1か月間の株式会社東京証券取引所における普通株式の1株当たりの株価終値の単純平均株価である917円(小数点以下四捨五入、以下、終値の単純平均株価の計算において同様とします。)といたしました。直近1か月間の株価終値の平均値を採用したのは、売買高が少ない当社の株式が取引日より変動幅が大きくなるという性質等を踏まえ、特定の一時点を基準とするより一定期間の平均株価を採用する方が算定根拠として客観性が高い一方、直前3か月や6か月間の終値の平均値を採用するよりも直近の株価傾向に即していると判断したためであります。なお、処分価額917円については、取締役会決議日の直前営業日の終値950円に対して3.47%のディスカウント、同直近3か月間の終値平均898円に対して2.12%のプレミアム、同直近6か月間の終値平均869円に対して5.52%のプレミアムとなっております。当該処分価額は、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであり、特に有利な処分価額には該当しないものと判断しております。

なお、上記処分価額につきましては、取締役会に出席した監査役3名全員(うち3名は社外監査役)からも、上記算定根拠による処分価額の決定は適正・妥当であり、かつ日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであり、特に有利な処分価額には該当しない旨の意見を得ており

ます。

(2) 処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本自己株式処分に係る株式数は、90,040株（議決権数900個）であり、これは2022年2月末時点の当社の発行済株式総数2,973,900株に対して3.03%（議決権総数28,819個に対して3.12%）の割合に相当し、一定の希薄化をもたらすこととなります。しかしながら、本自己株式処分は資本業務提携の一環として実施するものであり、中長期的な観点から今後の当社グループの企業価値の向上に寄与するものと考えており、既存株主の利益にも資するものと判断しております。また、処分予定先であるアルゴグラフィックスは当社株式を中長期的に保有する方針であり流通市場への影響は当面ないことから、株式の希薄化及び規模は合理的であると判断しました。

6. 処分予定先の選定理由等

(1) 処分予定先の概要

処分予定先の概要については、前記「I. 2. (3) 資本業務提携の相手先の概要」をご参照ください。

(2) 処分予定先を選定した理由

処分予定先を選定した理由については、前記「I. 1. 本資本業務提携の目的及び理由」をご参照ください。

(3) 処分予定先の保有方針

当社は、処分予定先より、中長期的に継続して保有する方針であることを口頭で確認しております。

なお、当社は、処分予定先から、処分予定先が払込期日から2年以内に本件第三者割当により処分される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 処分予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、アルゴグラフィックスが2022年2月10日付で関東財務局長宛に提出している第38期第3四半期四半期報告書に記載の四半期連結貸借対照表により、アルゴグラフィックスにおいて本自己株式処分の払込みに必要かつ十分な現金及び預金（24,709百万円）が確保されていることを確認しております。

7. 処分後の大株主及び持株比率

処分前（2022年2月28日現在）		処 分 後	
関本 晃靖	8.17%	関本 晃靖	8.17%
梶谷 眞一郎	4.81%	梶谷 眞一郎	4.81%
株式会社SBI証券	3.56%	株式会社SBI証券	3.56%
株式会社ディンプス	3.19%	株式会社ディンプス	3.19%
楽天証券株式会社	2.25%	株式会社アルゴグラフィックス	3.03%
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス	2.02%	楽天証券株式会社	2.25%
橋本 和幸	1.85%	株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス	2.02%
株式会社クリーク・アンド・リバー社	1.82%	橋本 和幸	1.85%

シュウ ティン	1.29%	株式会社クリーク・アンド・リバー社	1.82%
近山 隆	1.18%	シュウ ティン	1.29%

(注) 1. 上記表には、当社所有の自己株式を含めておりません。

2. 持株比率は、発行済株式総数に対する所有株式数の割合で算出しております。

8. 今後の見通し

当社は、本資本業務提携が中長期的に当社の企業価値向上に資するものと判断しておりますが、今期業績に与える影響は軽微です。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当は、① 希薄化率が25%未満であること、② 支配株主の異動を伴うものではないこと（新株予約権又は取得請求権すべてが権利行使された場合であっても、支配株主の異動が見込まれるものではないこと）ことから、東京証券取引所の定める上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

	2019年11月期	2020年11月期	2021年11月期
連結売上高	4,594百万円	4,134百万円	3,986百万円
連結営業利益	45百万円	73百万円	△96百万円
連結経常利益	60百万円	77百万円	△71百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	158百万円	16百万円	△101百万円
1株当たり連結当期純利益	54.97円	5.72円	△35.48円
1株当たり配当金	—	—	—
1株当たり連結純資産	520.25円	507.32円	475.95円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（2022年2月28日現在）

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	2,973,900株	100.00%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—	—
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—	—
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—	—

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	2019年11月期	2020年11月期	2021年11月期
始値	1,296円	1,757円	1,166円
高値	3,470円	2,089円	1,650円
安値	961円	830円	953円
終値	1,757円	1,171円	960円

② 最近6か月間の状況

	2021年 12月	2022年 1月	2022年 2月	2022年 3月	2022年 4月	2022年 5月
始 値	968 円	898 円	793 円	784 円	893 円	845 円
高 値	985 円	910 円	820 円	956 円	1,062 円	1,057 円
安 値	851 円	748 円	655 円	768 円	859 円	804 円
終 値	897 円	796 円	778 円	903 円	864 円	950 円

(注) 2022年5月については、2022年5月30日までの状況です。

③ 発行決議日前営業日における株価

	2022年5月30日
始 値	969 円
高 値	982 円
安 値	950 円
終 値	950 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

11. 処分要項

(1) 処 分 株 式 数	普通株式 90,040 株
(2) 処 分 価 額	1株につき 917 円
(3) 処 分 価 額 の 総 額	82,566,680 円
(4) 処 分 方 法	第三者割当による自己株式処分
(5) 処 分 期 日	2022年6月17日
(6) 処 分 予 定 先	株式会社アルゴグラフィックス
(7) 処分後の自己株式数	0株

以 上